

教育  
広報

# あきる野の教育

2026(令和8)年7月1日

編集・発行 あきる野市教育委員会

〒197-0814 あきる野市二宮350

☎042(558)1111(代)



## あきる野市が守る 子どもの歯の健康

教育委員会では、子どもの歯の健康を守るため、学校歯科医と連携し、歯科保健衛生の向上に努めています。

### 【学校の取組】

学校健康診断を通じて、むし歯や歯周病などの口腔内の健康状態を確認し、保健指導を行います。また、学校歯科医による歯科講話などを実施し、児童・生徒自らが歯の健康への高い意識が育つよう、指導に努めています。

### 【教育委員会の取組】

各学校の校長、養護教諭及び学校歯科医で構成される「あきる野市学校歯科保健連絡会」を開催しています。連

絡会では、学校歯科医や外部からお招きした講師から歯科保健に関する講義をいただいています。

講義を通して、外傷時の対応方法やむし歯の多い児童・生徒への個別対応など、学校現場で活用できる知識を深めています。

このような活動を通して、あきる野市全体で歯科保健に関する課題について検討し、生涯自分の歯で食事ができる健康な歯の土台作りを行っています。今回、秋川歯科医師会会長の澤田章司先生にあきる野市の歯科保健衛生の現状と対策について伺いました。

### 秋川歯科医師会会長 澤田章司先生



#### ①フッ化物応用の実施

・フッ化物入り歯みがき剤の活用（家庭）  
・フッ化物洗口（家庭や学校）  
・フッ化物塗布（歯科医）  
国は、地域全体のむし歯罹患率を下げる方法として、フッ化物洗口を推奨しています。フッ化物洗口は、学校において集団で実施することで、健康格差の是正に効果が大きいとされています。

定期的な健診を心がける。他にも、都市と郊外の家族構成の違いが、むし歯罹患率に影響を与えることがあります。あきる野市のような郊外の地域では、家族構成が多くなり、大人数の食事管理が難しく、間食や糖分の多い食品が増えるというケースも想定されます。歯の病気に対し、地域全体で予防を考えることが最重要課題となっています。

#### ②生活習慣の改善

あきる野市の児童・生徒におけるむし歯罹患率は、非常に高い傾向にあり、都内の区市町村の中でも毎年のようにむし歯が多いグループに入っています。

この背景には、生活習慣（食習慣）の重要性やむし歯の予防方法など様々な情報が、学校関係者や保護者へ確実に共有されていないことが要因と考えられます。対策は以下2点が挙げられます。

・学校健診の結果を受け、早期にかかりつけ歯科医を受診し、

人生百年の時代となった現在、生涯自分の歯で食事をすることが、何よりも幸せであり、そのことが全身の健康の保持増進につながります。この実現のためには、児童・生徒が「自分の健康は自分で守る」ことができるよう、より一層の学校歯科保健教育の充実が望まれます。

# すべての子どもたちを大切にする 特別支援教育の推進

## あきる野市内の特別支援教育について

教育委員会では、「すべての子どもたちを大切にする特別支援教育の推進」を基本理念に掲げ、すべての学校において、障害の有無に関わらず、児童・生徒一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、必要な指導及び支援の充実に取り組んでいます。

### 特別支援学校（都立あきる野学園）

障がいのある児童・生徒に対して、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識、技能、態度及び慣習等を養うための指導及び支援を行います。

### 特別支援教室

通常の学級に在籍し、自閉症、情緒障がい、学習障がい、注意欠陥多動性障がい等があり、教育活動の一部において特別な指導を必要とする児童・生徒を対象としています。一部特別な指導を必要とする児童・生徒に対して、週に1～2時間程度、指導目標の達成に向けて指導（自立活動）を行います。

対象校

| 拠点校    | 巡回校    |
|--------|--------|
| 多西小学校  | 草花小学校  |
| 西秋留小学校 | 一の谷小学校 |
| 屋城小学校  | 前田小学校  |
| 南秋留小学校 | 東秋留小学校 |
| 増戸小学校  | 五日市小学校 |

| 拠点校   | 巡回校            |
|-------|----------------|
| 秋多中学校 | 東中学校<br>御堂中学校  |
| 増戸中学校 | 西中学校<br>五日市中学校 |

### 特別支援学級

#### （知的障害）

児童・生徒の能力を最大限に伸長するとともに、学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するため、一人一人の教育的ニーズに合わせた、自立と社会参加を目指した指導を行います。

対象校

- ・（東秋留小学校）ひまわり学級
- ・（草花小学校）ふたば学級
- ・（一の谷小学校）こすもす学級
- ・（五日市小学校）ひまわり学級
- ・（東中学校）7組
- ・（五日市中学校）5組

#### （自閉症・情緒障害）

知的障がいがなく、自閉症等の発達障がいや心因性の選択性かん黙がある児童・生徒を対象としている学級です。集団の中での学習又は生活における困難さに対して、少人数指導の中で、自立活動等の授業を通して、改善・克服を目指した指導を行います。

対象校

- ・（南秋留小学校）ひばり学級
- ・（西中学校）6組

### 通級指導学級（言語障害）

通常の学級に在籍し、きつ音症や構音障がい等の言語障がいのある児童を対象としている学級です。発音器官の動きを活発にする練習、正しい音を聞き分ける練習、発音練習等の指導を行います。

対象校

- ・（前田小学校）ことばの教室

## インクルーシブ教育の推進

障害の有無に関わらず誰もが活き活きと活躍できるよう、通常の学級から特別支援学校まで多様な学びの場を提供し、交流及び共同学習を深めています。また、通常の学級でも「学びのユニバーサルデザイン」を推進し、児童・生徒が自分にあった学び方を選べる環境を整えています。併せて、個々の学びづらさを解消する「合理的配慮」を充実させ、誰もができる限り同じ場で共に学べる「インクルーシブ教育」を推進しています。

## インクルーシブ教育推進プロジェクト

各小・中学校の代表教員が集まり、専門講師を招いた研修や協議を重ね、具体的な授業の進め方や支援方法の研究を進めています。

令和7年度には、「多様な子どもたちが共に学べる学級づくり」をテーマに実践報告を共有しました。

令和8年度は、「授業におけるインクルーシブ教育の一層の充実」に重点を置いています。これまでの取組を各教室での実践へと確実につなげ、誰一人取り残さない学びの質を更に高める授業づくりに取り組んでいます。

## 学校の実践例

### 国語科における「思考の見える化」の実践



文章読解や意見表現に困難さを感じる生徒がいる実態を踏まえ、思考の過程を可視化することで、自分で考えを整理し、誰もが参加しやすい授業づくりを目指しています。

- ・授業のめあてと活動手順を常時提示
- ・本文に色分けラインを引き、根拠を明確化
- ・ワークシートを「選択式＋理由記述」の構造に改善
- ・考えを書くための「表現サポート例文」を提示

### 「My絵カード」の活用



自分の気持ちを言葉で表現することが苦手な児童が、嫌な思いや不安を我慢することがないように、自分の気持ちを表現しやすくするツールとして、「My絵カード」を使用しています。決められたものではなく、クラスに必要なものや児童一人一人にあったカードを作成し、活用しています。

### 副籍交流の促進



あきる野学園、市立学校、保護者が協力し、次の4つの視点に基づき、将来の「共生地域」の担い手を育てる交流を展開しています。

- ・子ども一人一人の「心が育つ」
- ・無理なく「続けることができる」
- ・お互いの「顔が見える」
- ・将来への「希望がもてる」

※副籍交流とはあきる野学園（小・中）に通う児童・生徒が、居住地域の学校に副次的な籍を置き、自分が住んでいる地域の友だちと交流・学習を行う制度です。

新

学校給食センター

建設工事に着手



《完成イメージ図》

日の出町と共同で整備を進めている新学校給食センター建設工事の請負契約を、令和8年3月18日に締結し、工事に着手しました。

令和10年1月の竣工に向けて工事を進めており、稼働は、令和10年度中を予定しています。

新学校給食センターは、最大8千食の給食が調理可能で、あきる野市16校、日の出町5校の合計21校の小・中学校に提供します。

令和8年度

スクールガード・リーダー

教育委員会では、通学路巡回と学校安全に関わる方への指導を目的として3人の元警察官の方をスクールガード・リーダーとして委嘱しています。

培ってきた経験に基づき、通学路の安全対策が必要と思われる箇所を確認し、定期的に学校及び教育委員会と情報共有しています。校内の設備においても遊具やフェンスに腐食、損傷、劣化などがないか確認し、問題があれば情報共有を行っています。

登下校の見守り活動時は、子どもたちに、交通安全への注意喚起を促す呼びかけを行うなど、子どもたちが元気に安心して登下校ができるような環境づくりに貢献していただいています。

また、スクールガード・リーダーの委嘱のほか、教育委員会では、地域の協力や市の関係部署、警察と連携して防犯パトロール、市内道路合同安全点検、通学路見守り用の防犯カメラの設置などを実施しています。

【スクールガード・リーダー紹介】



柴田健次さん

増戸小学校・五日市小学校  
(戸倉地区及び小宮地区を含む)



菅 哲夫さん

多西小学校・屋城小学校  
草花小学校・前田小学校



武田康雄さん

東秋留小学校・西秋留小学校  
南秋留小学校・一の谷小学校



東秋留小学校

全国小学校ラジオ体操コンクール

「かんぽ生命特別賞」受賞



2月24日(火)、東秋留小学校体育館で表彰式と出張授業が行われました。

専門家の指導を受け、児童はラジオ体操について学んだほか、上級生と下級生が班活動でどのように関わるかを実践する様子が見られました。地域や保護者の方々も参加して子どもたちと一緒に楽しむ場面があり、これらを通して学校全体の一体感が感じられました。このような取組が評価され、今回の受賞に至りました。

あきる野市立小・中学校

児童・生徒数及び教職員数

令和8年5月1日付けの小・中学校の児童・生徒数及び教職員数をお知らせします。

(単位:人)

| 学校名          | 児童数   | 教職員数 |
|--------------|-------|------|
| 東秋留小学校       | 462   | 31   |
| 多西小学校        | 317   | 24   |
| 西秋留小学校       | 374   | 21   |
| 屋城小学校        | 168   | 16   |
| 南秋留小学校       | 439   | 33   |
| 草花小学校        | 459   | 29   |
| 一の谷小学校       | 175   | 17   |
| 前田小学校        | 233   | 20   |
| 増戸小学校        | 472   | 28   |
| 五日市小学校       | 445   | 27   |
| 小学校計 (A)     | 3,544 | 246  |
| 学校名          | 生徒数   | 教職員数 |
| 秋多中学校        | 393   | 32   |
| 東中学校         | 617   | 38   |
| 西中学校         | 286   | 23   |
| 御堂中学校        | 155   | 17   |
| 増戸中学校        | 242   | 24   |
| 五日市中学校       | 212   | 20   |
| 中学校計 (B)     | 1,905 | 154  |
| 学校給食センター (C) | -     | 4    |
| 合 計 (A+B+C)  | 5,449 | 404  |

東中学校への

指定学校変更について

東中学校(特別支援学級を除く)は、他学区の生徒を受け入れた場合、教室数に不足が生じ、授業に影響することが見込まれています。このことから健全な学校運営や良好な教育環境を維持するため、次の理由による東中学校への指定学校変更はできません。

- 指定学校変更の承諾に係る審査基準のうち、承諾しない条件
- ・隣接通学区(距離)
- ・部活動
- 対象入学年度
- 令和9年度入学の生徒(現小学校6年生)から

教育総務係(内線2915)

○問合せ

申請方法などの詳細は、ホームページに掲載しています。

令和8年度

就学援助費申請

小・中学校に通う児童・生徒の保護者を対象に、一定の条件を満たす場合は、就学援助費として学用品費、修学旅行費など、就学に関する費用の一部を援助しています。

○支給対象者(次の①②の両方に該当する方)

- ①令和8年度にあきる野市に住所がある、又はあきる野市立小・中学校に在学する児童・生徒の保護者
- ②令和8年度に就学援助を申請し、審査の結果認定となる児童・生徒の保護者

申請方法は、申請方法などの詳細は、ホームページに掲載しています。

育英資金制度

高等学校、高等専門学校、専修学校や大学に在学し、成績優秀であるが経済的理由により修学が困難な方に、修学上必要な資金の貸付けをします。

○貸付金額(月額)

- ①高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程 1万5千円以内
- ②大学、専修学校専門課程 3万5千円以内

○償還期間など

貸付期間が終了した月の翌月から10年以内に年賦又は月賦等で償還(無利子)

○提出・問合せ

教育総務係(内線2915)

南秋留小学校



校長  
小原 太一



副校長  
永野 文恵

地域全体が学びの場。豊かな自然フィールドや地域の特色を生かした学習活動を地域人材と共につくっていきます。人権感覚を磨き互いを大切にできる心を育てます。

目指す児童像

○考える子  
○心ゆたかな子  
○じょうぶな子

重点施策への取組

①「個別最適な学び」「協働的な学び」を充実し、子どもがやる気をもって取り組める学習活動を展開します。

②情報の共有を確実にを行い組織的に対応します。子どもの人権感覚を磨き、互いを尊重する心を育てます。

草花小学校



校長  
永曾 久美子



副校長  
宮澤 成通

教科担任制と「くさはな学習過程」の充実を図る  
く…クエスチョン【?】に出会う  
さ…先を見通す  
は…はてな【?】を調べる  
な…納得して、次へ

目指す児童像

○かしこく  
よく考えすすんで学ぶ子  
○やさしく  
心豊かに、自分も友達も大切にする子  
○たくましく  
心も体も健康な子

重点施策への取組

①「くさはな学習過程」で学習意欲を高める思考の流れを具現化し、見通しをもって主体的に学ぶ。

②・いじめを絶対に許さない学級経営・学年経営  
・ふたば学級担任を中心とした人間理解教育の充実

一の谷小学校



校長  
池戸 龍一



副校長  
日吉 英智

自然豊かな環境で、誰一人取り残すことのない、児童にとってウェルビーイングな活動を行い、かつ伝統文化や国際理解を取り入れた「グローバル」な教育の実践を行う。

目指す児童像

○よく聞いてよく考える子  
○やさしい心をもつ子  
○最後までがんばりぬく子

重点施策への取組

①教員補助員を配置し、きめ細かい指導を行うことができる。朝学習やICTを活用した学習を進めている。

②アンケートの実施等から児童の微妙な変化を読み取り、SCや生活指導など相談できる体制を複数備えている。

前田小学校



校長  
加藤 寛



副校長  
川島 一真

児童が主体的に学び、多様性を認め、互いに高め合えるよう、人権尊重教育を推進し、児童一人一人が良さを発揮し、主体的、協働的に活動する学校を目指します。

目指す児童像

○主体的に学び、協働して考え表現する子  
○互いに認め合い、思いやりのある子  
○心と体の健康を考え、粘り強い子

重点施策への取組

①・子ども全員が参加できる授業  
・互いに認め合い、高め合える授業  
・言語活用能力を高める授業

②・思いやりの日や授業等によるいじめの未然防止や早期発見・対応  
・校内カラフルルーム等の支援の充実

令和8年度の取組

重点施策への取組

①確かな学力の育成

②いじめ防止と多様な相談体制の充実

西中学校



校長  
田中 晴恵



副校長  
柴崎 美典

「よく考えて本気でやる」「明るく元気にすすむ」「根気よく成しとげる」の教育目標のもと、一人一人の生徒に居場所があり、毎日が楽しい学校を目指します。

目指す生徒像

○正しい判断で目標に向かい、根気よく取り組む生徒  
○自他を大切に、思いを共有できる生徒  
○本気で挑戦する元気で清々しい生徒

重点施策への取組

①・授業スタンダードの徹底  
・授業における生徒の居場所づくり  
・読解力向上に向けた取組

②・自ら考え判断し行動できる力の育成  
・生徒会を中心としたいじめ防止への取組  
・「学校いじめ対策委員会」による組織的対応

御堂中学校



校長  
多田 春美



副校長  
峯岸 正光

◎学習に主体的に取り組み、学びの成果を自らの言葉で表現できる生徒を育成します。  
◎予測困難な社会をたくましく生き抜くための生きる力を育みます。

目指す生徒像

○自ら学び、自ら考え実行する生徒（自主）  
○理想に向かって向上努力する生徒（努力）  
○美しい心たくましい体の生徒（健康）

重点施策への取組

①地域資源、地域人材を活用した協働的な学びによる思考力・表現力の向上を目指した授業改善

②全員面談やアンケートの実施によるいじめ・不登校の未然防止への取組と外部機関とともにつくる教育相談体制の充実

増戸中学校



校長  
脇本 達也



副校長  
鈴木 信成

「人権の尊重」と「傾聴」を土台とした教育活動を行います。また、小中一貫教育を一層推進し、「どこへ行ってもやっていける人間」を育成します。

目指す生徒像

○夢を持ち続ける人  
○進んで努力する人  
○思いやりのある人 ※重点目標

重点施策への取組

①・「分かる授業」を意識した工夫改善による基礎基本の定着  
・「好き」を育み「得意」を伸ばす授業実践

②・豊かな心を育てるための「特別の教科 道徳」の充実  
・すべての生徒にとって居心地がよい「居場所」の確保

五日市中学校



校長  
梶井 ひとみ



副校長  
安藤 文子

明るく前向きで向上心のある生徒たちへと成長させるために、努力を惜しまず、日々の教育活動に全力かつ丁寧に取り組めます。

目指す生徒像

○よく考えて行動する生徒  
○すすんで協力する生徒  
○思いやりのある生徒  
○心身共に健康な生徒

重点施策への取組

①・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実  
・1人1台端末の効果的な活用

②・校内別室・オンライン・校外など複数の学びの場の充実  
・校内外の関係機関と連携強化

### 東秋留小学校



校長 田中 淳志

副校長 西本 充利

特色ある教育活動「東秋留ふるさと学」の学びで、歴史ある地域の伝統・文化の継承と未来を創造する教育を推進し、郷土に誇りをもち、愛する児童を育てます。

目指す児童像

〔好きを育み・得意を伸ばす〕

○進んで学び協働する子

○たくましく生活する子

○自分も人も大切にする子

重点施策への取組

①めあてをもち、既習を基に「知りたい・考えたい」等、自ら「主体的」に未知の学びを進め、考えを深める子を育てます。

②自他を大切にする「いいな(1・17)の日」の全校思いやり活動で、本校児童の合い言葉「あったかチルドレン」を育てます。

### 多西小学校



校長 村岡 由季夫

副校長 川崎 毅

「児童・保護者・地域・教職員が誇りに思う学校」を目指し、保護者・地域としっかり連携しつつ、伝統文化を大切にするハートフルな学校づくりを進めます。

目指す児童像

○よく考えすすんで行動する子

○心豊かで思いやりのある子

○健康でたくましい子

重点施策への取組

①校内研究を充実させ、授業にユニバーサルデザインを取り入れて、「わかる」「できる」を増やしていく。

②いじめ不登校対策委員会を中心に、いじめは絶対許さないという信念で、早期に組織的に対応して解決を図る。

### 西秋留小学校



校長 寺内 雄一

副校長 志村 雅巳

児童が“安心と充実を味わえる”ために、日々「対話する」「認める」「褒める」「成功させる」「納得させながら叱る」ことを繰り返し、児童の自己肯定感を育む。

目指す児童像

○思いやりのある子

○考える力のある子

○じょうぶなからだの子

重点施策への取組

①教材研究、教材理解の充実に努める。学習の原動力は意欲。児童の学習意欲を高める授業の実現に努める。

②深い児童理解と、児童・保護者共に寄り添う指導支援の充実により、自他共に大切にする児童の育成を図る。

### 屋城小学校



校長 小瀬水 陽子

副校長 中山 和彦

チーム屋城で、児童・教職員・保護者・地域の誰かが大切にされ、誰一人取り残さない学校づくりを進めています。「みんなが誇りに思える屋城小」を目指します。

目指す児童像

○自分で考える子(知)※重点目標

○思いやりのある子(徳)

○たくましい子(体)

重点施策への取組

①すべての児童に「やってみよう!」「分かった!」「できた!」が実感できる授業を実践し、学力の向上を目指します。

②「かなしさ0 たのしさ100 みんながなかまの屋城小」を合言葉に、子どもたちが安心して学校生活を送れる環境をつくります。

あきる野市立小・中学校

### 増戸小学校



校長 時計 祐司

副校長 土居 一慶

教科担任制やICTの活用といった最新の教育と、伝統ある増戸の豊かな自然を生かした学習を両立させ、子どもたちが笑顔で通える楽しい学校を目指します。

目指す児童像

○考える子ども

○進んで行動する子ども

○健康な子ども

重点施策への取組

①小学校教科担任制の推進校として、各教員の専門性を生かした授業を実現し、学びの質を向上させます。

②児童の心に寄り添い、いじめの早期発見、早期解決、継続的な見守りを関係機関と連携し、組織的に行います。

### 五日市小学校



校長 樫山 雄三

副校長 三浦 祐介

まち探検や紙すき体験、五日市憲法の学習など、地域の自然・文化・歴史を学び、地域に関する理解を深めるとともに、地域を愛する心情を育む。

目指す児童像

○自分で考える子

○進んで人とかかわる子

○最後までやりとげる子

重点施策への取組

①基礎的・基本的な内容の確実な定着を目指す。教員一人一人の指導力の向上を図り、授業改善を推進する。

②教職員全体で児童理解を深める。学校、保護者、関係機関と連携してウェルビーイングを目指す。

### 秋多中学校



校長 高橋 康則

副校長 宇佐美 拓郎

「いのち」を尊び自他共に認め合う教育、学ぶ意欲や楽しさの実感、個々の主体性発揮と自己実現などを指導し「一人一人に居場所がある学校づくり」を目指します。

目指す生徒像

○今を大切にし、未来をたくましく生きる生徒

—「規律」「真剣」「全力」—

重点施策への取組

①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的に学ぶ力を育成します。

②いじめの未然防止と早期発見に取り組み、組織的対応の徹底と関係機関と連携した多様な相談体制の充実を推進します。

### 東中学校



校長 齋藤 弘圭

副校長 竹ノ下 智彦

社会の変化に主体的に対応できる力と社会に貢献する意欲を培い、心身ともに健全な社会人の育成を目指します。

目指す生徒像

○よく考え最後までやりぬく人

○豊かな心を持ち思いやりのある人

○常に自分を高めようと努力し創造力のある人 ※重点目標

重点施策への取組

①主体的な学習活動の推進に向け、指導法や学習環境を整備するとともに、個に応じた指導の充実を図ります。

②校内教育相談部会・特別支援教育部会や登校支援教室との連携を行い、校内カラフルルーム・不登校・いじめ対応の充実を図ります。

# 令和8年度青少年対策事業を実施します

## 〈作品・来場者を募集します〉

あきる野市教育の日・第31回来を築く青少年健全育成あきる野市大会

「あきる野市教育の日」(12月第1土曜日)の12月5日(土)に、S&D秋川キララホールで実施します。

一般の方の来場も可能です。青少年の熱い想いがこもった主張を、ぜひ会場でお聞きます。



### 【中学生の主張大会】

今年度は「届け！私。」をキャッチコピーに、日常生活を通じて考えていること、願い、希望などを、市内在住・在学の中学生から募集しています。応募作品の中から審査により選ばれた生徒が発表します。

### 【小学生の人権メッセージ】

人権啓発活動を通じて、小学生が感じた人権への思いを、代表校の児童がメッセージとして発表します。

### あきる野市「家庭の日」推進事業

市では、家族のふれあいを大切に、楽しい家庭づくりと子どもたちの健全な育成を願って、毎月第2日曜日を「家庭の日」と定めています。

教育委員会では「家庭の日」を推進するため2つの事業を実施しています。

### 【絵画・作文・ポスター募集】

市内在住・在園・在学の幼児・小中学生から、家族と一緒に過ごして楽しかったこと、友達や先生とのふれあいなどに関する絵画・作文・ポスターを募集しています。

昨年度は、絵画・作文・ポスター合わせて約215件の応募があり、優秀作品の表彰と作品展示を行いました。

子どもが家族や家庭について考える、良い機会になりますので、ぜひご応募ください。



### 【親子鑑賞会】

例年9月に、S&D秋川キララホールで親子鑑賞会(入場無料)を開催しています。



Witty Look(鑑賞会の様子)

昨年度は、「チキキ\*パーク」からシルク・ドゥ・クレイユ登録の二人組アーティスト「Witty Look」によるコメディサーカステージを開催しました。

今年度は9月5日(土)に、

昨年度のアーティスト「Witty Look」が仲間を連れて帰ってきます。笑顔あふれるサーカスショー「ミスチーフ・サーカス」不思議な国のおじさん?」を行う予定です。

午前の部と午後の部の二部制で開催しており、親子で一緒に楽しむことができます。

親子鑑賞会を通して、家族みんなで感動を共有し、共通の話題で家族のふれあいの時間をつくりませんか。

広報紙・市ホームページで開催をお知らせしますので、ぜひお申し込みください。

## 第15回おとなが手本のあきる野市あいさつ標語カルタ大会

7月4日(土)に、秋川体育館で市オリジナルの「あいさつ標語カルタ」を使った大会を開催します。

3人1チームで対戦し、絵札の獲得が多いチームが勝利する大会です。1人でも参加できる「個人の部」や大人も一緒に楽しめる「フリースタイルの部」もあります。友達や家族と一緒に、白熱した対戦が繰り広げられます。

## 国際姉妹都市 マールボロウ市との 教育交流事業 (受入・派遣)

今年度もマールボロウ市との受入・派遣事業を実施します。受入事業は、9月24日(木)から10月2日(金)まで、マールボロウ市友好訪問団(ミドルスクールの生徒と教職員)が来日します。生徒たちはホームステイをしながら、学校体験や市内見学をします。

派遣事業は、10月23日(金)から10月30日(金)まで、中学生海外派遣団(市立中学校長の派遣団長と中学生8人)をマールボロウ市へ派遣します。現地では、ミドルスクール訪問やホームステイを通じて海外の生活や文化を学びます。

## 大島・子ども体験塾



あきる野市と羽村市の小学5・6年生及び中学生を対象に、伊豆大島の自然や文化にふれる体験事業を毎年8月に行っています。

友好都市である大島町のあきる野市は、活火山の三原山や地層大切断面など、地球の仕組みや噴火の中で生き抜く動植物の姿を見られる「ジオパーク」にも認定されています。参加者は、地域や年齢が異なる班のメンバーと事前・事後活動及び現地活動で行動を共にします。

現地活動では、美しい海でのシュノーケリングや、三原山ハイキングなど様々なプログラムを予定しています。

また、現地活動終了後に

は、活動で学んだことをまとめ、保護者の前で発表します。



《事後活動の様子》  
学んだことを「壁新聞」にまとめ、班ごとに発表

大自然の中で、地域や年齢を超えた交流を深め、生きる力や豊かな人間性を育みます。

動などの団体も含まれます。

今年度は、7月中旬以降に募集を開始しますので、皆さんの周りで表彰対象に該当する方がいらつしやいましたら、ぜひ、推薦してください！

### ○主な表彰対象の善行内容

【小さな親切】地域の中での心温まる思いやりのある行為

【公共生活への貢献】公共物の愛護、公衆道德の普及、公共の利益となる工夫・研究、その他公共社会・公共団体・地域などのために尽くした行為

【環境の美化】清掃美化、環境美化など環境改善に尽くした行為

【社会福祉活動】社会福祉施設又は社会的弱者への慰問激励・各種奉仕、その他社会福祉に尽くした行為(例：老人ホームでのボランティア活動)

### 【青少年指導】年少者の指導・

生涯学習係(内3011)

教育・非行少年の善導など(例：地区のサマーキャンプの手伝い、クラブ活動での指導)※高校生以上が対象

【自然と文化財愛護】自然や文化財愛護に尽くした行為

【緊急時貢献】人命救助、防火、防犯、事故防止等に尽くした行為、地震・風水害など自然災害又は人為災害発生時に尽くした行為

【芸術文化への貢献】音楽、郷土芸能(6年以上の継続)、絵画・作文及び書道等での貢献

【スポーツへの貢献】各種スポーツでの貢献(都大会3位以内入賞、関東大会16位以内入賞、全国大会出場など)

【その他】対象がどうか分からない内容については、事務局までお問い合わせください。

### ○問合せ

生涯学習係(内3011)

心の感動を一枚の写真プリント作品に込めて

第10回あきる野

フォトコンテスト

開催

今年度「第10回あきる野フォトコンテスト」を開催します。

あきる野フォトコンテストは、あきる野市内及び秋川流域の風景・街並み・行事・史跡・植物などをテーマに、広く市内外から公募した全応募作品を展示・公開することにより、あきる野市の生涯学習の推進をめざし、文化的で魅力あふれるまちづくりと地域の芸術・文化の振興を目的として、平成20年度から隔年で実施しています。

今年度も市内で活動する写真愛好団体が組織した「あきる野フォトコンテスト実行委員会」とあきる野市教育委員会との協働で開催します。

あきる野フォトコンテストの特徴としては、デジタルデータではなく、写真プリントで出品していただき、応募作品すべてを展示することや、審査員の先生から、すべての作品一点一点についてコメントをいただけることです。構図やプリントだけでなく、撮影、テーマ、プリントの状態など、参加者にとって貴重なアドバイスがもらえます。

審査員は、今年度も小澤太二氏（公社）日本写真家協会会長、藤森邦晃氏（月刊誌「フォトコン」編集長）を予定しており、一般の

部、中学生以下の部として、入賞入選作品を選び表彰します。

藤森審査員からは、「この地域に住む人たちが自分たちの街の良さを伝えようとするこのコンテストはものすごい意義のあるものだと思って審査させていたいております。もちろん他地域の写真愛好家が来ても、被写体豊富なエリアだと感じることでしょ。その魅力が応募作品から伝わってきました。次回に向けて、もっともつと地元を歩いてみてください。これまでのこのコンテストで見たことがないような光景がまだまだあるはずですよ。そしてここへ何度も通つてみてください。きっと素敵な表情を見せてくれる日があるはずですよ。地元を見つめることがもし写真生活におけるライフワークになったとしたら、素晴らしい人生を送れるはずです。」

小澤審査員からは、「それぞれの人の中で何をどう見せたいのか、というのが強く分かる写真が多かったことも見逃せません。ただシャッターを押しただけの写真と、いろいろな考えながら撮った写真とは、やはり写真の中に詰め込めるものの密度が違ってくると思います。小さな努力や思考の積み重ねが、結果

としての写真の力強さにもつながるはずですよ。またプリントの調子がよい作品も多かったと思います。撮るだけでなく、しっかりと適切に画像処理を施し、いいプリント用紙に丁寧に印刷する。これら基本的な部分がしっかりとできていれば、おのずといい作品に仕上がります。そしていいプリントからは、写真の本身もしっかりと伝わってくるものです。

また、「どの作品も秋川流域の自然や歴史・文化を作者が一枚の写真作品によく表現されています。撮るだけでなく、しっかりと適切に画像処理を施し、いいプリント用紙に丁寧に印刷する。これら基本的な部分がしっかりとできていれば、おのずといい作品に仕上がります。そしていいプリントからは、写真の本身もしっかりと伝わってくるものです。」

今年度も、多くの市民に市や秋川流域の良さを体現していただく機会となるよう努めていきます。なお、前回の第9回あきる野フォトコンテスト入賞・入選作品は、市ホームページに掲載されていますのでぜひご覧ください。

今年度のフォトコンテスト作品募集時期及び作品展など、今後の予定は、広報紙や市ホームページにも掲載してまいります。皆様も市内を巡りながら感動を作品に込めて、ぜひ応募ください。

第9回あきる野フォトコンテスト

優秀賞



【中学生以下の部】  
「秋多桜」  
伊藤真央さん

最優秀賞



【一般の部】  
「秋色から冬の色へ」  
柳川卓哉さん

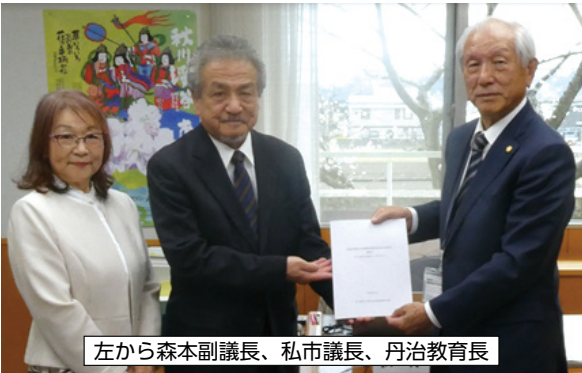
あきる野市  
郷土芸能連合会



あきる野市社会教育委員の会議からの提言  
「持続可能な社会  
教育関係団体の活動  
活性化」あきる  
野市民の豊かな人  
生のために」

あきる野市社会教育委員の会議では、市内の社会教育の発展を図るため、定期的に会議を開き、調査・研究を行っています。今回提出された提言は、市内の社会教育関係団体の活発な活動が、地域における多様な学びの場の拡大を促進し、地域全体の結束力を強める重要な役割を担っていることに着目し、「団体」と「個人」二つの側面から支援することの重要性について述べられています。

教育委員会では、本提言を参考にし、各種計画の策定などに取り組んでいきます。



左から森本副議長、私市議長、丹治教育長

提出された提言書は、二次元コードからご覧いただけます。





## 部活動地域展開への取組

学校の部活動は、生徒の体力・技術向上だけではなく、人間関係の形成や学習意欲、自己肯定感の育成にも大きな教育的意義があります。しかし、少子化や社会経済の変化により、従来の運営維持が難しくなっており、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保・充実させるため、地域クラブ活動としての新たな価値を創出する事が求められています。

あきる野市では令和6年度を初年度として、学校と地域の指導者が連携する部活動を、NPO法人あきる野市スポーツ協会に委託し、土曜日・日曜日・祝日を対象に市内の6つの中学校の運動部活動で、部活動地域展開を開始しました。

令和6年度は、11部活動に地域指導員24人をNPO法人あきる野市スポーツ協会から配置し、取組を開始しました。令和7年度については、24部活動に、地域指導員39人が登録され、専門的な技術指導や大会引率などを主に担っています。



研修会の様子

みんなで一緒に楽しく学ぶ

# 寿大学

はじめに

寿（ことぶき）大学はあきる野市中央公民館が主催する事業で、昭和48年に始まり、54年目を迎えました。

今年度は902人の受講生が年間20回の講座を楽しく意欲的に学んでいる高齢者のための伝統ある生涯学習の事業です。

## 寿大学の学びの目標

① 新たな知識の学びと学び直しを目指して、学び楽しさを味わうとともに、自主的、意欲的に「学び」に取り組むこと。

② 学んだことを自分の力とするとともに、人に伝えたり社会生活の取組に活かしたりして、積極的に社会参加をする。

③ 受講者同士が交流を深め、豊かな心と生きがいを培うこと。

## 寿大学で学びたい人

① 申込み

「広報あきる野」やポスター、町内会・自治会の回覧等で募集のお知らせをし、毎年2月に新規受講生の募集をします。60歳以上の市民ならどなたでも応募できます。引き続き学びたい方は、11月に更新の申込みをしていただきます。

② 受講費用

無料。ただし、歌舞伎鑑賞教室と社会見学に参加希望の場合は実費負担をしていただきます。

③ 会場

2つの会場のどちらかを選択します。秋川校は木曜日にS&D秋川キラウホール、五日市校は火曜日に五日市地域交流センターまほろばホールが会場です。

④ 講座開催期間

4月から11月までの間（8月を除く）に20回の講座があります。

⑤ 講座時間

午後2時から3時45分まで、15分の休憩をはさみ90分の講義講座になります。

## 講座について

① 内容と学ぶ方法

文学、歴史、科学、芸術、健康医療、福祉、生活、一般教養等多岐にわたる領域を取り上げ、講師による講義講座16回と、開講式と記念公演、閉講式と学習発表会、歌舞伎鑑賞教室、社会見学の行事講座4回があります。

② 講座予定と受講の記録

年間予定表を配付し、講座が進められます。出席すれば受講の記録に印が押され、簡単な感想などをノートに書きます。

③ 学び方

講義講座での学びは、配付された資料とプロジェクターで映し出されたスライドで、講師の講話を受講します。

④ 皆勤賞・修了証書

講座を休まず受講した方には皆勤賞を、11回以上受講した方には修了証書を授与します。

## 寿大学の特色

① 学びやすい環境づくり

現在では、私たちが学びたい様々な場や機会にいろいろな方法で学ぶことができます。寿大学は、地域に根差した教育を学びの主軸にしています。

あきる野市の自然や歴史、文化、社会資源、高齢者の課題等を講座に設定し、できるだけ身近に住む講師を招入しています。

このことにより受講生が親しみを持て学ぶことができ、地域の素晴らしさや課題に気付くとともに、郷土を愛し誇りに思えるようになることで、学ぶ楽しさを味わい、意欲的に学び、次の講座が楽しみだと思えるように講座の内容を選定しています。

② 受講生の実態に即して

高齢者のニーズと課題に即した医療、福祉、生きがい、犯罪被害防止等を取り上げ、学び直しができる講座を設定しています。

ます。

③ 地域社会に活かす

学んだことを地域社会の中で活かしたり社会参加をしたりして、地域の発展と活性化に寄与できるように呼びかけています。

④ 会場は2か所

本市の特色として、秋川校は700人収容のS&D秋川キラウホールと、五日市校は150人収容の五日市地域交流センターまほろばホールで講義講座をしています。

## 寿大学を支える役員会

受講生の中から役員会を組織します。年6回の役員会では寿大学が円滑に実施できるように共通理解し、意見を述べ、運営に協力していただきます。任期は2年です。

講座日には、役員が分担して講座の準備や片付け、出席受付、資料配付などを行います。

役員の協力により講義講座や行事講座を円滑に実施することができます。

学び続けることの大切さ

私たちは日本史上最も変化の激しい時代を体験し、環境も暮らしも大きな影響を受け、対応しながら生きてきました。これからこのような時代になっても、心豊かにたくましく、生きがいを持ち、安心して平和な暮らしができるようにするために、私たちは変化に対応できる力を絶えず身に付けていかなければなりません。そのための最善の方法は、今学べることを主体的に学び続けること以外にはありません。

おわりに

寿大学は、一人で学ぶよりもみんなで一緒に学んだり、歌ったり、笑ったり、助け合ったりしながら、学ぶ楽しさを味わっていただいていることを特色としています。これからも、次の講座での学びが待ち遠しいと受講生が思えるように進めていきます。

（寿大学学長 宮崎慶）

| 令和8年度の受講生 |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
|           | 秋川校         | 五日市校        |
| 在籍数       | 739人        | 163人        |
| 新規入学生数    | 125人        | 36人         |
| 男：女比率     | 31.1%：68.9% | 34.4%：65.6% |
| 平均年齢      | 78.5歳       | 78.2歳       |
| 最高年齢受講生   | 96歳         | 91歳         |
| 60歳台      | 53人         | 18人         |
| 70歳台      | 340人        | 80人         |
| 80歳台      | 326人        | 63人         |
| 90歳台      | 20人         | 2人          |
| 平均受講年数    | 6.9年        | 6.7年        |
| 最高受講継続者   | 27年         | 26年         |